山の本　山に詠う

『生駒山：歴史・文化・自然にふれる』

大阪府みどり公社編，生駒山系歴史文化研究会著　ナカニシヤ出版　291.6/イ/

日本の古くからの文化の中心である大和と難波の中央部に位置し、それらを東西に分割するように南北に横たわる山塊「生駒山系」。その歴史や自然、知られざる魅力を紹介する。

『関西南部：金剛・生駒・紀泉・奈良・大峰・台高・高野・熊野周辺』

山と溪谷社　291.6/カ/

関西南部の人気の山、メジャールートを大きな地図で詳しく紹介した、登山初級者向けのガイドブック。コースタイムや危険箇所、見どころなどの情報をたっぷり盛り込む。切り取れる「金剛・葛城・紀泉全図」付き。

『いにしえをめぐる奈良の山歩き里あるき：大和路のとっておきトレッキングコース 18』

竹内 康之著　淡交社　291.6/タ/

奈良大和路の絶景と名所がめぐれる全 18 コースの所要時間や歩行距離、レベル、ビューポイントや名所、お勧めの店などを、エリアごとにガイド。山歩きのいろはも収録する。データ:2015 年 4 月現在。

『山の詩集』 串田 孫一編，田中 清光編　筑摩書房　911.5/ヤ/

山を題材にした詩は少なくない。わが国の近代から現代への詩の時代は、ちょうど近代登山が移入され拡がってゆく時代と重なり、詩における山のとらえ方も、名勝賞美から山中へ分け入る冒険時代へ、そして自然とおのれとを登山を通して把握する表出へ変化した。

★『万葉集を歩く：大和、近江、難波、紀伊万葉ゆかりの地へ』

JTB（JTB キャンブックス　文学歴史　17）911.1/マ/

近畿中心に、万葉集ゆかりの地を訪ねる旅に必携の案内書。コラムでは代表歌人の名家の数々を紹介。

★（こちらの本は、文学の棚〔棚番号⑪～〕にございます。）

★『日本全国万葉の旅　西日本・東日本編』

坂本 信幸著，村田 右富実著，牧野 貞之写真　小学館　911.1/サ/

日本最古の歌集「万葉集」の舞台を、選りすぐりの写真と、第一級の万葉学者によるわかりやすい解説で案内する。西日本・東日本編は、対馬、瀬戸内海、箱根などを収録。「西日本・東日本をうたった万葉歌一覧」も掲載。

★（こちらの本は、文学の棚〔棚番号⑪～〕にございます。）